

研究課題	ICTの効果的な活用によるキャリア教育の視点を踏まえた小中連携ふるさと学習のカリキュラム開発
副題	9年間の学びの足跡を生かすeポートフォリオセンターの構築と活用
キーワード	小中連携カリキュラム キャリア教育 eポートフォリオ
学校/団体 名	和歌山県白浜町立安居小学校
所在地	〒649-2532 和歌山県西牟婁郡白浜町安居 626
ホームページ	http://www.town.shirahama.wakayama.jp/soshiki/kyoiku/somu/gyomu/shogakko/ago/index.html

1. 研究の背景

児童生徒は、総じて純朴・温和であり、年齢に関係なく仲が良い。与えられた課題や作業に対しては最後までやり遂げようと真面目に頑張る良さがあるが、自ら進んで考えたり行動したりすることはやや少ない。また、幼い頃から同じ集団で過ごしているため、人間関係が固定化しがちで、他者と関わる力が育ちにくく、切磋琢磨する気風に欠ける面もある。ずいぶん改善はしてきたが、自分で考えて正しく判断する力、積極的に行動する力、自分の考えをはっきりとまとまりのある言葉で話す自己表現力等に依然として課題がある。

本校の校区は、清流日置川の中流域に沿う約20kmと、その支流に沿って点在する地域に広がっている。平成29年4月の市鹿野小学校との統合により、校区内の学校は安居小学校・三舞中学校の一小一中となった。そのため、地域の方々の学校への期待は大きく、運動会や小中合同文化祭等では、全区を挙げて協力がある。児童生徒は、そんな地域の方々や雄大な自然から多大な恩恵を受けているが、地域の方々の愛情や地域の素晴らしさに気づけずにいることが多い。

このような実態から、総合的な学習の時間の「ふるさと学習」、「キャリア教育」を中心として、地域の人々や自然に学ぶ体験活動を工夫し、小中学校間で系統的、計画的に取り入れることにより、地域の良さに気づき、ふるさとを大切にする心が育まれ、言語活動の充実も図られると考える。また、学習したことを活用することにより、豊かな表現力を養うことができ、それがこの素晴らしい地域で生きている自信にもつながると考える。さらに、へき地小規模校の特性や小中校舎共有という特性を生かして、義務教育9年間を見通した指導や少人数の良さを生かしたきめ細かな指導を行うことで、基礎学力の向上をめざすとともに、生活習慣や学習への取組を小中で見直すことで、主体的に学ぼうとする意欲や態度を育成していきたい。さらに、「ふるさと学習」、「キャリア教育」を中心とした小中連携を推進することにより、豊かな人間性を育み、周りの「ひと・もの・こと」と積極的に関わる中で主体的かつ豊かに表現する生徒を育成したいと考え、本研究を設定した。

2. 研究の目的

キャリア教育の視点を踏まえた小中連携の総合的な学習を推進するためのカリキュラムの作成を目指すとともに、体験的学習活動等の内容を記録・蓄積して、学びの足あとを、常に振り返り、証明できるように、eポートフォリオシステムの積極的かつ有効的な活用を研究する。

3. 研究の経過 ※研究部の略称 [学力向上部]→[学] [総合キャリア部] →[総]

①時期		②取り組み内容		③評価記録
4	3	小中合同会議	児童生徒の実態把握とつけたたい力	議事録
	3	小中合同会議	研究指定校事業の経過と今後の見通し	議事録
	9	研究推進部会 1	研究主題と研究年間計画等について	板書の写真
	21	I C T 研修 I	教育ソフトを使った学習環境の向上	風景の写真
	22	研究推進部会 2	キャリア発達課題に応じたつけたたい力	議事録
	23	小中合同研修	特別支援教育への理解	議事録
5	14	I C T 研修 II	遠隔授業の可能性と操作方法 (ZOOM)	風景の写真
	14	研究二部会	[学] 「日置川スタンダード」の作成 [総] 前年度までの取組の共通理解	板書の写真
	21	研究部会	研究部会 [学] 「日置川スタンダード」の修正	議事録
	25	I C T 研修 III	A R アプリケーションの活用方法	風景の写真
	28	研究推進部会 3	本年度の研究の進め方などについて (小柳教授との SKYPE 交流①)	議事録
6	1	I C T 研修 IV	『まな B O X』の操作方法と活用について	風景の写真
	2	研究二部会	[学] 「学力 U P ! アンケート」の作成 [総] 今年の計画、総合的な学習と教科の関連について	議事録
	9	研究部会	[総] 学年活動のめあてとゴール	板書の写真
	17	茶摘み体験	茶摘み～茶煎り～茶揉み～茶干し	感想文
	17	スキルアップ研修	書く力の向上「文章講座」講師：石井 晃氏	風景の写真
		研究授業①	研究授業 (第 5 学年 総合的な学習)	板書の写真
7	16	講師招聘研修 2	小中連携カリキュラム開発に向けて (小柳教授との SKYPE 交流②)	議事録
	27	研究推進部会 4	講師招聘研のまとめと今後の見通し	議事録
	30	キャリア教育講座	「ようこそ、先輩！」講師：坂本麻衣子氏	風景の写真
		研究授業②	研究授業 (中学校 社会)	板書の写真
8	21	研究部会	[総] 「日置川ミライ学」カリキュラムの見直し	板書の写真
	25	研究二部会	[学] 「話し合い活動」のスキル U P について [総] アンケート分析「つけたたい力」の最終確認	板書の写真
	27	スキルアップ研修	アクティブ・ラーニング 藤本順也指導主事	風景の写真
		研究推進部会 5	2 学期の取組と今後の見通し	議事録
9	9	研究部会	[学] 「日置川スタンダード」追加「会話の話型」	議事録
	17	踊りの練習	地域の方々と「日置川小唄・音頭」の練習	風景の写真
	23	小中合同研修	事前研 (第 3 . 4 学年総合の指導案検討)	議事録
		小中合同研修	事前研 (第 1 . 2 学年生活の指導案検討)	議事録

	14	研究二部会	[学] 自校の特色ある行事・活動の確認と交流 [総] 各学年の活動と本発表の進め方について	板書の写真
	15	研究授業③	研究授業（第３・４学年 総合的な学習）	板書の写真
		講師招聘研修 4	小中連携カリキュラム開発に向けて （小柳教授との SKYPE 交流③）	議事録
	16	研究授業④	中１食育「中学生に必要な栄養を考えよう」	風景の写真
	21	研究授業⑤	研究授業（第１・２学年 生活）	板書の写真
		講師招聘研修 5	小中連携カリキュラム開発に向けて （小柳教授との SKYPE 交流④）	議事録
	27	合同避難訓練	地震・洪水を想定した地域参加型の避難訓練	風景の写真
		防災学習会Ⅱ	紀伊半島大水害の被災者による紙芝居視聴 防災に関する地域課題についての意見交換会	風景の写真 板書の写真
	28	小中連携事業⑦	本発表当日の準備・役割分担についての協議	議事録
	28	研究推進部会 6	研究の進捗状況の確認と今後の見通し	議事録
11	4	小学校部会	文化祭「日置川ミライ学」の発表に向けて	議事録
	5	茶製品づくり体験	茶煎り～袋詰め～ラベル貼り	感想文
		地域交流会	市鹿野地区の方々との交流会	感想文
	5	小中合同研修	事前研（中学校 第１学年総合の指導案検討）	議事録
	6	小中合同研修	事前研（中学校 第３学年総合の指導案検討）	議事録
	11	研究推進部会 7	研究集録（原案）検討	議事録
	15	中間発表会	小中合同文化祭での研究中間発表	感想文
	18	小中合同会議	研究発表会に向けて	板書の写真
	25	実践報告書作成	指定研究の実践のまとめ	研究紀要
12	3	研究発表会	公開研究授業、研究報告、小柳教授の講話など	風景の写真

4. 代表的な実践 ①小中連携ふるさと学習『日置川ミライ学』のカリキュラム開発

[illegible]

全校ミライ学（花づくり活動）

テーマ	花をいっっぱい咲かせ隊
ねらい	◎地域の方とのふれあいを通して、人との接し方や相手を思いやる心を身につける。 ◎意欲をもって活動しながら、仲間との協調性を身につける。
キャリア教育の視点	協 協力する力（人間関係形成・社会形成能力）
かかわり	学校支援ボランティア、異学年交流
育てたい資質・能力	『学びに向かう力・人間性等』 「花いっぱい」のきれいな学校と自分たちも地域の人も自慢できる学校にするために一生懸命花づくりに取り組もうとする。
スケジュール	
4	水やり・整美 ★入学式会場へ
5	夏の花苗植え
6	
7	水やり・整美
8	
9	秋・冬の花苗植え
10	水やり・整美 ※花壇整備
11	★花苗販売（文化祭）
12	春の花苗植え
1	水やり・整美 ★地域貢献活動（公共施設や街道沿いにプランター設置）
2	★ボランティアさんへお礼
3	★卒業式会場へ
期待できる力	
・愛校心（花いっぱいのキレイな学校） ・郷土愛（大辺路街道をきれいに） ・感謝する心（協力してくれる地域の方へ） ・協力する力 ・リーダー性	
資質・能力を育成する指導上の工夫	
・ただの「作業」にならないように、学校支援ボランティアの支援を受けて談笑しながら楽しく植えさせる。 ・文化祭での販売で地域の方々から直接喜びの声を聞かせる。 ・児童会として高学年児童が直接地域に出向き、プランターを置かせてもらう。	

全校ミライ学（地域から学ぶ「川添茶」）

テーマ	地域の「伝統」守り隊
ねらい	◎地域の方とのふれあいを通して、人との接し方や相手を思いやる心を身につける。 ◎地域の方々から、自分たちの知らない知識や技能などを学ぶ。 ◎意欲をもって活動しながら、仲間との協調性を身につける。
キャリア教育の視点	見通す力（キャリアプランニング能力） 考える力（課題対応能力） じりつする力（自己理解・自己管理能力） 協力する力（人間関係形成・社会形成能力）
かかわり	川添緑茶研究会、市鹿野地域の皆さん、異学年交流
育てたい資質・能力	思考力・判断力・表現力等 製品ができるまでの見通しを持ち、茶摘みや茶煎り体験を行い、その後の見聞をポートフォリオ等に記録し、今後に生かそうとする。 『学びに向かう力・人間性等』 地域の伝統「川添茶」の良さや魅力を伝えるため、文化祭での販売に向けてみんなで協力し取り組もうとする。
スケジュール	
4	事前学習・茶摘み体験の準備 茶工場見学（中学年）
5	茶摘み、茶煎り、茶もみ、茶干し体験
6	
7	
8	
9	事前学習・茶製品作りの準備 地域交流会の計画・準備（中学生）
10	茶製品づくり・地域交流会
11	地域の方へのお礼 （感想文作成・茶の販売）
12	新春初もみ会参加（中学生）
1	活動の振り返り 次年度に向けて見直しを持つ
2	
3	
期待できる力	
・郷土愛（地域の特産品を大切に思う心） ・協調性（茶製品完成に向けて互いに協力する力） ・リーダー性（上級学年の主体性や思いやりの心） ・感謝する心（地域の方々への感謝の気持ちを様々な形で表わそうとする力）	
資質・能力を育成する指導上の工夫	
・活動が体験のみで終わらないよう、事前指導により、お茶摘みなどのポイントなどを思い出させ、体験活動に取り組ませる。 ・お茶製品の販売を文化祭で行い、地域の方々の喜びを実感させる。 ・9年間を見直し、活動が継続できるよう、ワークシート等（ファイルに保管）を残していく。	

全校ミライ学（地域から学ぶ「小学校_農業体験」）

テーマ	収穫の喜び分け合い隊
ねらい	◎地域の方々から、自分たちの知らない知識や技能などを学ぶ。 ◎意欲をもって活動しながら、仲間との協調性を身につける。
キャリア教育の視点	協 協力する力（人間関係形成・社会形成能力）
かかわり	農業協同組合、地域の農業従事者、異学年交流
育てたい資質・能力	『学びに向かう力・人間性等』 異学年で交流しながら苗植えや手入れ、収穫などの活動を行うことで、集団への所属意識を高め合い、望ましい人間関係を養う。
スケジュール	
4	
5	玉ネギ収穫・サツマイモ植え付け
6	梅ジュース作り
7	水やり・除草
8	
9	
10	サツマイモ収穫・玉ネギ植え付け
11	焼きイモ作り・販売
12	
1	水やり・除草
2	
3	
期待できる力	
・思いやり ・勤労奉仕 ・協力する力 ・郷土愛（地域の特産物にふれる）	
資質・能力を育成する指導上の工夫	
・上級生と下級生がペアになり、植え付け方、収穫の仕方をわかりやすく教えるようにする。 ・当番で水やりを行うことで、任された役割に責任を持たせる。 ・収穫の喜びを味わうとともに、地域の方や保護者に販売し喜んでもらうことで、自己有用感を育てる。	

全校ミライ学（地域から学ぶ「中学校_農業体験」）

テーマ	おいしい漬物作り隊
ねらい	◎地域の方々から、自分たちの知らない知識や技能などを学ぶ。 ◎意欲をもって活動しながら、仲間との協調性を身につける。
キャリア教育の視点	協 協力する力（人間関係形成・社会形成能力）
かかわり	農業協同組合、地域の農業従事者、異学年交流
育てたい資質・能力	『学びに向かう力・人間性等』 地域の専門家の指導を仰ぎながら、生物育成の見方考え方を踏まえた体験活動を行い、地域の産業への理解を深め、生活と社会のつながりを考える力を養う。
スケジュール	
4	
5	
6	
7	
8	
9	大根の種まき
10	
11	間引き・除草
12	
1	大根の収穫・干し
2	大根の漬物づくり・販売
3	活動の振り返り 次年度に向けて見直しを持つ
期待できる力	
・思いやり ・勤労奉仕 ・協力する力 ・郷土愛（地域の特産物にふれる） ・植物栽培の基礎技術 ・食品管理の知識	
資質・能力を育成する指導上の工夫	
・技術科、家庭科の時間で学んだ知識の実践の場として意識させる。 ・植え付けから間引き、除草の作業を経て収穫に至るまでの過程の中で大根の成長を見通した効果的な育成栽培について考えさせる。 ・共同作業を通じて協力して物事を進めることの大切さを意識させる。 ・食育の観点で特産品による地域社会と生活の繋がりを考える。	

日置川ミライ学 カリキュラム			学年ミライ学のねらい(3K)					キャリア教育の視点 (つきたい4つの力)						
【学校教育目標】 ふるさとを愛し、夢を叶え、未来を切り拓く児童・生徒の育成 【研究主題】 主体的に学び、夢に実現できる児童・生徒の育成 ～キャリア教育の視点をもとにふるさと学習の推進、小・中連携カリキュラムの創出～			◎地域の良さを学び、力を身につける。 ◎「なぜ?どう?」を導き、自らで考える力を身につける。 ◎考えたことを行動に移す力を身につける。					 じりつする力 (自己理解・自己管理能力)  能力する力 (人間関係形成・社会形成能力)  考える力 (課題対応能力)  発達する力 (キャリアプランニング能力)						
学年探究課題			【低学年】 安曇の町立たんげん隊		【中学年】 地域の課題調べ隊			【高学年】 安曇の地域に役立ち隊			【中学校】 地域のミライ考え隊			
日置川「絆」プロジェクト			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
低学年 ふれあひ を つづ け る	こ の ち の こ ら の こ ろ を ま も り ま し う	こ の ち の こ ら の こ ろ を ま も り ま し う	◎「健康」について学び、身 体・心・くちくちの力を身に つけようとする児童・生徒の 育成。自分たちの「日置川」 の良さを学び、ふるさとを愛 し、まじりあうことを互に支 援する。		児童の成長にむかいつづける (1)		みんがの力を活用しながら学 ぶ(1)		児童・生徒、よりよい学びが できること(1)		児童・よりよい学びが できること(2)		児童・よりよい学びが できること(3)	
			児童の成長にむかいつづける (2)		みんがの力を活用しながら学 ぶ(2)		児童・生徒、よりよい学びが できること(2)		児童・よりよい学びが できること(2)		児童・よりよい学びが できること(2)		児童・よりよい学びが できること(2)	
			児童の成長にむかいつづける (3)		みんがの力を活用しながら学 ぶ(3)		児童・生徒、よりよい学びが できること(3)		児童・よりよい学びが できること(3)		児童・よりよい学びが できること(3)		児童・よりよい学びが できること(3)	
中学年 ふれあひ を つづ け る	こ の ち の こ ら の こ ろ を ま も り ま し う	こ の ち の こ ら の こ ろ を ま も り ま し う	児童・生徒、よりよい学びが できること(4)		みんがの力を活用しながら学 ぶ(4)		児童・生徒、よりよい学びが できること(4)		児童・よりよい学びが できること(4)		児童・よりよい学びが できること(4)		児童・よりよい学びが できること(4)	
			児童・生徒、よりよい学びが できること(5)		みんがの力を活用しながら学 ぶ(5)		児童・生徒、よりよい学びが できること(5)		児童・よりよい学びが できること(5)		児童・よりよい学びが できること(5)		児童・よりよい学びが できること(5)	
			児童・生徒、よりよい学びが できること(6)		みんがの力を活用しながら学 ぶ(6)		児童・生徒、よりよい学びが できること(6)		児童・よりよい学びが できること(6)		児童・よりよい学びが できること(6)		児童・よりよい学びが できること(6)	
高学年 ふれあひ を つづ け る	こ の ち の こ ら の こ ろ を ま も り ま し う	こ の ち の こ ら の こ ろ を ま も り ま し う	児童・生徒、よりよい学びが できること(7)		みんがの力を活用しながら学 ぶ(7)		児童・生徒、よりよい学びが できること(7)		児童・よりよい学びが できること(7)		児童・よりよい学びが できること(7)		児童・よりよい学びが できること(7)	
			児童・生徒、よりよい学びが できること(8)		みんがの力を活用しながら学 ぶ(8)		児童・生徒、よりよい学びが できること(8)		児童・よりよい学びが できること(8)		児童・よりよい学びが できること(8)		児童・よりよい学びが できること(8)	
			児童・生徒、よりよい学びが できること(9)		みんがの力を活用しながら学 ぶ(9)		児童・生徒、よりよい学びが できること(9)		児童・よりよい学びが できること(9)		児童・よりよい学びが できること(9)		児童・よりよい学びが できること(9)	
中学生 ふれあひ を つづ け る	こ の ち の こ ら の こ ろ を ま も り ま し う	こ の ち の こ ら の こ ろ を ま も り ま し う	児童・生徒、よりよい学びが できること(10)		みんがの力を活用しながら学 ぶ(10)		児童・生徒、よりよい学びが できること(10)		児童・よりよい学びが できること(10)		児童・よりよい学びが できること(10)		児童・よりよい学びが できること(10)	
			児童・生徒、よりよい学びが できること(11)		みんがの力を活用しながら学 ぶ(11)		児童・生徒、よりよい学びが できること(11)		児童・よりよい学びが できること(11)		児童・よりよい学びが できること(11)		児童・よりよい学びが できること(11)	
			児童・生徒、よりよい学びが できること(12)		みんがの力を活用しながら学 ぶ(12)		児童・生徒、よりよい学びが できること(12)		児童・よりよい学びが できること(12)		児童・よりよい学びが できること(12)		児童・よりよい学びが できること(12)	

②キャリア教育の充実

キャリア教育の充実を図るため、『自己の高まり』を確認するツールとして、日置川ミライ学における児童生徒の実践の記録をeポートフォリオとして記録する。また、それらを児童・生徒および職員間で共有することにより、『共に高め合う』ためのツールとしても活用する。

今年度は、パナソニック教育財団の助成を受け導入したeポートフォリオシステム『まなBOX (株式会社NSD)』を使用している。

主な活用例としては、日置川ミライ学の体験学習において、事前の「めあて」と事後の「振り返り」を児童生徒自身が入力して記録するツールとして用いることが挙げられる。データとして蓄積された『学びの足跡』は、児童生徒のキャリアパスポートの作成等においても有効な材料となるだろう。また付随する効果として、上記で述べた児童生徒自身が入力する活動が慣習化することにより、「体験あって学び無し」と称される状況に陥らず、「課題設定→実践(体験活動)→自己評価」の探究活動の基礎技能の習得も期待される。もう一つの活用例としては、キャリア教育の視点を踏まえた学力の定着状況等、児童の変容を見るためのアンケートの実践が挙げられる。アンケートの集計結果は、課題に対する教員間の共通理解を図ることはもちろんのこと、児童生徒にも公開し、自己理解と課題解決に向かう主体性の育成に役立てている。

まなBOX

小5_1 日置川ミライ学

- 梅採り体験のめあて
- 梅採り体験の振り返り
- 梅干し作りのめあて
- 梅干し作り体験の振り返り
- お茶摘み体験のめあて
- お茶摘み体験の振り返り
- パンフレット(案)発表会のめあて
- パンフレット(案)の発表会の振り返り
- 藍染体験のめあて
- 藍染体験の振り返り

小5_A 日置川ミライ学 (合同)

- お茶つみのめあて
- 茶摘み体験活動の報告
- キャリア教育講座「ようこそ、先輩!」のめあてを決めよう
- 情報モラルの授業の感想①
- 学力向上プランのチェックアンケート (8月)
- 日置川ミライ学アンケート (8月)
- 日置川ミライ学アンケート (11月)
- 学力UP! アンケート (6月)
- 学力UP! アンケート (7月)
- 学力UP! アンケート (8月)
- 学力UP! アンケート (9月)
- 学力UP! アンケート (10月)
- 防災学習
- 防災アンケート
- 防災学習会の振り返り

問1
日置川ミライ学アンケートの結果の振り返り (タイム) を行いましたか?

22% 4 チェーンで繋ぎ、結果を振り返ることができた。
(自分の考え、自分の考え、自分の考えを振り返ることができた。)

28% 5 チェーンで繋ぎ、結果を振り返ることができた。
(自分の考え、自分の考え、自分の考えを振り返ることができた。)

50% 9 チェーンで繋ぎ、結果を振り返ることができた。
(自分の考え、自分の考え、自分の考えを振り返ることができた。)

問2
日置川ミライ学アンケートの結果の振り返り (次の授業の準備) を行いましたか?

22% 7 自分、自分、自分の考えを振り返ることができた。
(自分の考え、自分の考え、自分の考えを振り返ることができた。)

39% 7 自分、自分、自分の考えを振り返ることができた。
(自分の考え、自分の考え、自分の考えを振り返ることができた。)

22% 4 自分、自分、自分の考えを振り返ることができた。
(自分の考え、自分の考え、自分の考えを振り返ることができた。)

問3
日置川ミライ学アンケートの結果の振り返り (次の授業の準備) を行いましたか?

22% 6 自分、自分、自分の考えを振り返ることができた。
(自分の考え、自分の考え、自分の考えを振り返ることができた。)

28% 5 自分、自分、自分の考えを振り返ることができた。
(自分の考え、自分の考え、自分の考えを振り返ることができた。)

39% 7 自分、自分、自分の考えを振り返ることができた。
(自分の考え、自分の考え、自分の考えを振り返ることができた。)

問4
日置川ミライ学アンケートの結果の振り返り (次の授業の準備) を行いましたか?

50% 9 自分、自分、自分の考えを振り返ることができた。
(自分の考え、自分の考え、自分の考えを振り返ることができた。)

22% 4 自分、自分、自分の考えを振り返ることができた。
(自分の考え、自分の考え、自分の考えを振り返ることができた。)

28% 5 自分、自分、自分の考えを振り返ることができた。
(自分の考え、自分の考え、自分の考えを振り返ることができた。)

問5
日置川ミライ学アンケートの結果の振り返り (次の授業の準備) を行いましたか?

44% 6 自分、自分、自分の考えを振り返ることができた。
(自分の考え、自分の考え、自分の考えを振り返ることができた。)

22% 4 自分、自分、自分の考えを振り返ることができた。
(自分の考え、自分の考え、自分の考えを振り返ることができた。)

問6
日置川ミライ学アンケートの結果の振り返り (次の授業の準備) を行いましたか?

22% 4 自分、自分、自分の考えを振り返ることができた。
(自分の考え、自分の考え、自分の考えを振り返ることができた。)

5. 研究の成果

- ・簡易ではあるが、今まで形になっていなかった全校及び学年の小・中連携カリキュラムを教科との関連が見通せる分かり易い形に表すことができた。
- ・学年の系統性が分かりやすい形となり、発展、深化していくテーマを探究することができた。
- ・ふるさと日置川をしっかりと見つめ、地域の人や物、ことと関わりを深めることができた。
- ・授業では上級生(中学生)と小学生との関わりを通し、課題解決に向かう流れができつつある。
- ・体験活動における学習過程「課題設定→実践（体験活動）→振り返り」が、少しずつ確立されつつある。
- ・日置川ミライ学に大きく関わるキャリア教育の視点を4つの力に位置づけたことで、キャリア教育と日置川ミライ学がより一体化できた。
- ・中学生と学習活動を共にすることにより、成長の道筋が小学生には見えた。
- ・小中で共通した学びの型やルールを教室に拡大掲示し、月末の「まなBOX」のアンケートで振り返りを行うことで共有化が深まった。
- ・各教科で学習したことを発揮する機会として、総合的な学習に向かうことができた。また総合的な学習で活用することで学習の基礎がより定着した。

6. 今後の課題・展望

小・中連携カリキュラムのもと、教科の授業を行う際、総合的な学習とのつながりが大きい単元については、連動を意識することが大切である。また、全校および各学年の日置川ミライ学の実践の際には、体験活動に至るまでの学年のストーリー（筋道やイメージ）をつかませることが重要となり、体験活動の動機となる「課題の設定」を十分に行う必要がある。

最大の課題としては、カリキュラムとeポートフォリオのリンクがまだ弱いことである。さらなる一体化を目指し、研究を進めていきたい。そして、その蓄積された「学びの足跡」を小中の学習の履歴の共有や、キャリアパスポート作成のための資料にも役立たせていきたいと考える。

7. おわりに

今後、GIGA スクール構想を迎えていく中で、eポートフォリオの有効的な活用の研究はさらに意義をもつ取組になると考えています。小・中連携カリキュラムの改善と並行して、より一層に尽力していく所存であります。最後に、本校の研究推進にあたり、適切なご指導・ご助言をいただきました関西大学総合情報学部・大学院教授小柳和喜雄先生はじめ、ご指導・ご支援いただきました地域の皆様、先生方に厚く感謝申し上げます。

8. 参考文献

- ・長田 徹〔監修〕（2019）＜小学校だからこそ！キャリア教育！＞実業之日本社
- ・藤田 晃之〔監修〕（2015）＜ゼロからはじめる小中一貫キャリア教育＞実業之日本社
- ・田村 学／黒上 晴夫（2013）＜考えるってこういうことか！「思考ツール」の授業＞小学館